



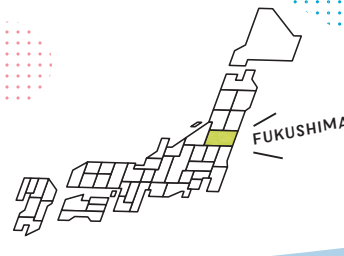
トークセッション

「福島を経験を継承する」 & 浜通り現地見学

「公害資料館連携フォーラム」は全国各地で公害経験の継承に取り組む団体や個人が交流する場です。2023年度は福島県内で開催予定。今回はそのプレ企画です。原子力災害/原発事故も、公害と同じ社会的災害に属します。その経験継承に取り組む方々をお招きし、「困難な過去」を未来につなぐ取り組みをどう進めていくか、公害問題の経験も踏まえて考えたいと思います。



2023
1/21(土) - 22(日)



1/21
土

トークセッション

会場：いわき湯本温泉「古滝屋」
(原子力災害考証館 furusato)



オンライン
配信あり!



URLは公害資料館ネットワーク
HPにも掲載しています。
<https://kougai.info/>

時間：14:00～16:20

(終了後、希望者による原子力災害考証館furusatoの見学会も行います。)

費用：無料 定員：20名(申込先着順)

※会場は老舗の温泉旅館です。宿泊のご予約は、下記にご連絡ください。
いわき湯本温泉「古滝屋」 TEL:0246-43-2191 FAX:0246-43-3737

1/22
日

浜通り現地見学

里見 喜生・原子力災害考証館
furusato館長のご案内

- 常磐炭田ヘリテージ(産業遺産)
- とみおかアーカイブ・ミュージアム
- 東日本大震災・原子力災害伝承館

時間：8:50 出発(古滝屋)～15:30 いわき駅で解散

費用：5,000円

定員：15名(申込先着順)

会場と見学先について

● 原子力災害考証館 furusato

いわき湯本温泉の老舗旅館「古滝屋」に2021年3月12日に開設。震災・原発事故で客が減り、使われなくなった宴会場を改装してつくられた。古滝屋16代目の当主・里見喜生さんが約7年間、構想を温めてきた施設である。公的な伝承施設ではすくい取れない「声なき声」—政府やマスメディアなどが強調する「復興」のストーリーにかき消されがちな、人びとの営みや声を発信することを重視している。

● 常磐炭田ヘリテージ(産業遺産)

いわき地域の歴史の重要な要素として、常磐炭田がある。その産業遺産化に取り組む地元の方々のガイドを予定。

● とみおかアーカイブ・ミュージアム

原発事故で全町避難となった富岡町がつくった施設。震災前の住民の生活の様子と比較しながら、震災と原子力災害によって、町にどのような変化が起きたのかを伝える。学芸員による解説あり。

● 東日本大震災・原子力災害伝承館

震災関連資料「収集・保存」、複合災害に関する「調査・研究」、それらを活かした「展示」、複合災害の経験・教訓を伝える「研修」の4事業、そして福島イノベーション・コースト構想における情報発信拠点として地域交流の促進に取り組む。学芸員による解説あり。

パネリスト(50音順)

- 内山 大介(福島県立博物館)
- 小野 陽洋(いわき語り部の会)
- 木村 紀夫(大熊未来塾)
- 里見 喜生(原子力災害考証館furusato)
- 瀬戸 真之(東日本大震災・原子力災害伝承館)
- 筑波 匡介(福島県立博物館)
- 門馬 健(とみおかアーカイブ・ミュージアム)

コメンテーター

- 藤原 遥(福島大学)
- 林 美帆(公害資料館ネットワーク/みずしま財団)

司会

- 除本 理史(公害資料館ネットワーク/大阪公立大学)

\\ トークセッション会場内にて展示 //

福島大学・後藤忍ゼミ「減算力」の教訓を学ぶためのパネル展示
(教員・学生による展示解説あり)、ほか

【主催】公害資料館ネットワーク

事務局連絡先

公益財団法人水島地域環境再生財団(みずしま財団)

〒712-8034 岡山県倉敷市水島西栄町13-23

TEL:086-440-0121 FAX:086-446-4620 kougaisairyukan@gmail.com

地球環境基金助成事業



参加申し込みは
こちらから



URLは公害資料館ネットワークHPにも掲載しています。 <https://kougai.info/>